
研究活動報告（2023年1月－2023年12月）

（50音順）

ウィリアムズ、エリザベス・アン（Elisabeth Ann Williams） 講師

<論文>

Academic harassment and international graduate students at Japanese universities: An overview of problems and possible steps forward [アカデミックハラスメントと日本の大学における外国人大学院生 — 問題点の概観と解決する手段], (2023), 神戸女子大学文学部紀要, 第56巻, 41-56.

<研究活動>

① 学会発表

- 1) GALE SIG Forum: Gender-friendly Practices in Language Classrooms (パネリスト), JALT PanSIG Conference. 京都, 2023年5月14日.
- 2) Migrants and Refugees: Supporting people of diverse heritages in Japan (パネリスト), 2023年9月30日, Living on the Edge Conference, 京都
- 3) Embracing Diversity in Japanese Higher Education: Experiences of Non-Native Instructors (コーディネーターとパネリスト), Living on the Edge Conference. 京都, 2023年10月1日.

② 競争的獲得資金

- 1) 科学研究費補助金「エスニシティとジェンダーの交差性からみる在留外国人の精神的健康」(研究課題番号: 21K03097), 研究分担者, 2021年4月～2024年4月.

<学会・研究会活動>

① 所属学会・研究会

- 1) Japan Association for Language Teachers
- 2) 異文化コミュニケーション学会

<その他>

① TABUNKO (多様な家族を支援する団体) イベントとワークショップの開催

- 1) バイリンガル読み聞かせイベント (於: 神戸国際コミュニティーセンター), 2023年2月15日、2023年6月28日、2023年12月23日
- 2) バイリンガル読み聞かせとハンドクラフトのイベント (Tarumi International Exchange Groupと共同), 2023年4月15日
- 3) 子育ての経験を共有するイベント (於: 神戸国際コミュニティーセンター), 2023年5月28日
- 4) 子どもの国際的なハロウィンパーティー (於: 神戸国際コミュニティーセンター), 2023年10月29日

室屋 安孝 教授

<共著>

- ① Yasutaka Muroya, A fragmentary manuscript of Dharmottara's *Kṣaṇabhaṅgasiddhi*, in: Vincent Eltschinger, Jowita Kramer, Parimal Patil, Chizuko Yoshimizu (eds.), *Burlesque of the Philosophers. Indian and Buddhist Studies in Memory of Helmut Krasser*, [Hamburg Buddhist Studies Series, no. 19], 2 vols., Bochum/Freiburg: projekt verlag, 2023, 471-504.
- ② Motoi Ono, Yasutaka Muroya, Toshikazu Watanabe (eds.), *Jinendrabuddhi's Viśālāmalavatī Pramāṇasamuccayaṭīkā, Chapter 6*, [Sanskrit Texts from the Tibetan Autonomous Region, no. 25], Beijing/Vienna: China Tibetology Publishing House/Austrian Academy of Sciences Press, 2023.

<研究活動>

- ① 科学研究費基盤研究(B)「無の探究」合同研究会参加, Zoomによるオンライン開催, 2023年3月9日, 12月25日.
- ② 科学研究費基盤研究(C)「ディグナーガ著『集量論』における「他者のための推理」学説の生成と発展」研究集会参加, 神戸女子大学: 2023年3月5日, 龍谷大学: 3月6~7日.
- ③ 科学研究費基盤研究(C)「『集量論複注』第二章」研究集会参加, Zoomによるオンライン開催, 2023年1月17, 3月14日, 4月18日, 5月16日, 6月20日, 7月18日, 8月1~3日(龍谷大学), 10月17日, 11月21日, 12月19日.
- ④ 沼田ワークショップ“Reading Dignāga, Dharmapāla, and Bhāviveka”, Zoomによるオンライン参加(台湾國立政治大學, ハイブリッド開催), 2023年8月21~22日(22日第4セッションの司会).
- ⑤ インド思想史学会第30回学術大会参加, 京都大学, 2023年12月23日.
- ⑥ 競争的資金獲得
 - 1) 科学研究費補助金(研究活動スタート支援)「ダルマキールティ著『ヴァーダ・ニヤーヤ』の総合的研究のための基盤構築」(2022~2023年度), 課題番号22K19978, 研究代表者.
 - 2) 科学研究費基盤研究(C)「ディグナーガ著『集量論』における「他者のための推理」学説の生成と発展」(研究代表者: 筑波大学小野基教授, 2022~2025年度), 課題番号22K00053, 研究分担者.

<学会・研究会活動>

- ① 国際仏教学会(International Association of Buddhist Studies)
- ② インド思想史学会

<その他>

通訳: 冒険遊び場づくり国際フォーラム2023—ドイツ・日本「プレーカーが生み出す子どもの居

場所 日独の子どもの遊びに関わる専門家と一緒に「遊び」と「居場所」について考えましよう」デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO), 2023年11月12日.

野口 和美 教授

<研究活動>

- ① 日本公共政策学会 2023年度研究大会国際交流委員会セッション討論者 The Roles of Specialized Knowledge in Administrative Reforms, Policy Entrepreneurs in City Lab: Towards Facilitative Policy Designers. コラッセふくしま, 6月3日.
- ② 令和4年度客員研究員受入れ
(チェンマイ大学公共政策研究科准教授CHAMCHONG Pobsook, 研究課題: 政策ラボに関する研究)
- ③ 競争的資金獲得
2023年度神戸女子大学教育・研究助成費採択 (研究課題: コミュニティの市民社会組織と政治発展 - パンデミック禍のタイ、米国、日本の事例 研究代表者)
- ④ 播磨社会復帰促進センター視察: カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校政治学部 REESE Renford教授に同行, 11月30日.
- ⑤ 一般財団法人かがやきホーム視察, 12月25日.

<学会・研究会活動>

- ① 日本公共政策学会国際交流委員 (2020年10月～)

吉岡 志津世 教授

<報告>

(共著) 吉岡志津世/深井美智子 「“ER Pilot Project 2021” —国際教養学科英語多読活動2021年初年次実施報告」Global-Local Studies 第16号, 2023年3月, 13-32.

<研究活動>

- ① 日本女性学会2023年度全国大会参加. ウィングス京都イベントホール, 2023年6月17日～6月18日.

<学会活動>

- ① 学会発表司会: 西出希翔 (広島修道大学) 「忘れられたグレーテル——『ホーム』における隠蔽とトラウマの再構築」中・四国アメリカ文学会第51回大会. 広島大学東広島キャンパス, 2023年6月10日.
- ② 中・四国アメリカ文学会評議員 (2009年6月～)